

低レベル放射性廃棄物の処分に関する技術開発委託費

令和3年度概算要求額 **2.2億円** (1.8億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 本事業では中深度処分*1の円滑な実施に向けた技術開発や廃炉等で発生するクリアンスレベル*2金属廃棄物の有効利用促進に向けた実証試験を行います。

*1:一般的な地下利用に対して十分余裕を持った深度（地下70m以深）に埋設する処分方法です。

*2:放射能濃度が極めて低く放射性廃棄物として扱う必要が無いレベルのことです。

- 具体的には、大規模な坑道や地下空洞型処分施設などを建設する上で必要な、岩盤にかかる圧力（地圧）の三次元的な分布を把握する技術や地下水流動を測定する技術の開発を行います。また、クリアンスレベル金属廃棄物の再利用に係る実証試験を実施します。
- 令和3年度は、地下70m以深の実規模試験施設を活用した測定装置の詳細設計を実施します。また、クリアンスレベル金属廃棄物の安全な加工方法等を実証します。

成果目標

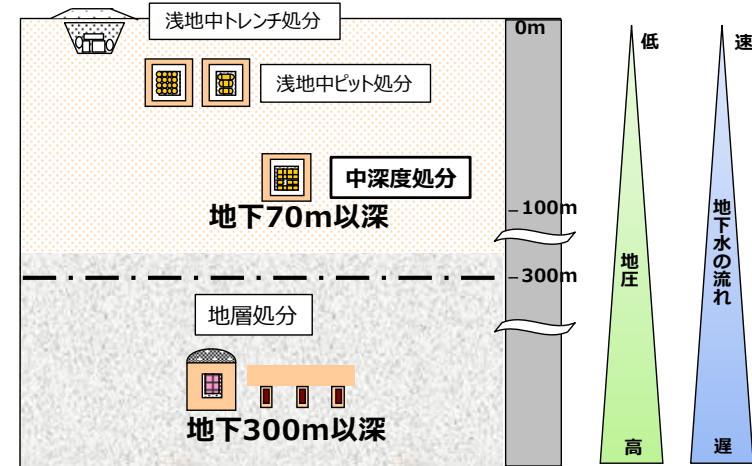
- 処分施設建設の事前検討に必要な地下環境を把握する技術の開発を行い、中深度処分の円滑な実施を目指します。また、令和3年度中に、クリアンス金属廃棄物を安全に再利用できることを実証します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

地下環境の一般的な特徴



クリアンスレベル金属廃棄物の有効利用促進のイメージ

